

令和6年度 下水処理場の水質検査結果（年間平均値）

水質項目 処理場名	水素イオン 濃 度 <pH>	生物化学的 酸素要求量 <BOD> (mg/L)	化 学 的 酸素要求量 <COD> (mg/L)	浮遊物質 量 <SS> (mg/L)	窒素含有量 <T-N> (mg/L)	リン含有量 <T-P> (mg/L)
せせらぎ東条	7.1	2.9	8.7	2	5.3	2.3
三草川 清流センター	6.5	1.7	9.1	4.8	5.1	1.9
上鴨川 清流センター	6.6	2.0	8.4	5.3	3.0	2.5
下鴨川 清流センター	6.5	5.5	15.6	3.3	18.3	3.1
流尾川 クリーンセンター	6.7	0.9	7.1	1未満	7.9	2.8
放流水 の基準	5.0を超え 9.0未満	600未満	200未満	600未満	240未満	32未満

水質項目	
pH	アルカリ性、酸性、中性かのいずれかを示す。
COD	試料に酸化剤を加え反応させ、その時に消費した酸化剤の量を酸素の量に換算してCODの値を算出する。 BODと比べて、短時間で分析できる。 その数値が大きいほど汚濁負荷が大きい。
BOD	試料を20℃で8日間培養したものと、培養前のものの溶存酸素量を測定し、その差から酸素消費量を求めBODの値を算出する。 値が大きいほど水の汚れの度合いがひどい。
SS	水の中にある不純物の量。水中に溶け出さず、分散し浮遊している物質の量。
T-N	水中に含まれる窒素(N)やリン(P)の量で、水の富栄養化の程度を表す指標の一つ。 富栄養化はプランクトンの大量発生につながる。
T-P	